

## ドイツの政治安定に綻び

～バイエルン州議会選で非主流派政党が躍進～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

◇ メルケル政権の求心力低下を占うバイエルン州議会選は、姉妹政党のキリスト教社会同盟、大連立に加わる社会民主党が大きく支持を失い、環境政党・同盟90/緑の党と右派ポピュリスト・ドイツのための選択肢が躍進。二大政党の凋落と非主流派2党の躍進は、28日のヘッセン州議会選や連邦議会レベルの最近の世論調査でも確認。州議会選の結果がすぐさまメルケル首相の進退問題に発展する可能性は低い、有権者の二大政党離れと多極化でドイツの政治安定に綻び。

ドイツ南部のバイエルン州議会選が14日に行われ、連邦議会でメルケル首相が率いるキリスト教民主同盟（CDU）の姉妹政党でバイエルン州で活動するキリスト教社会同盟（CSU）、二大政党の一角で大連立に加わる社会民主党（SPD）が揃って大幅に議席を失った（図表1）。2015年の難民危機時にドイツへの難民流入の玄関口となった同州では、大量の難民流入による州民の不安と政府の難民対応への不満が高まっている。昨年9月の連邦議会選やその後の州内の世論調査で難民受け入れに批判的な右派政党・ドイツのための選択肢（AfD）の支持が拡大したことに危機感を募らせ、同州を長年率いてきたCSUは難民に対する厳しい姿勢を強めている。今年6月にはCSUの党首で、連邦政府で内務相を務めるゼーホーファー氏が、難民対応の再考を求めてメルケル首相に反旗を翻した（詳細は7月2日付けレポート「[薄氷の難民対応合意、メルケル政権の命運は？](#)」を参照されたい）。連立協議の難航の末に今年3月にようやく発足した第4次メルケル政権は、発足直後に姉妹政党の反乱で連立解消の危機に見舞われた。ただ、こうしたCSUの極端な右傾化やゼーホーファー氏のスタンドプレイは一部有権者の不評を買ったほか、大連立に再び加わったSPDの党勢凋落や、排ガス規制問題による環境意識の一段の高まりも追い風となり、今回の州議会選では環境政党・同盟90/緑の党（Grüne）が大幅に議席を伸ばし、第2党に躍進した。

バイエルン州においてCSUは圧倒的な存在であり続け、第二次大戦後の大半の時期（12回のうち11回）で単独過半数を確保し、州政府の運営を独占してきた。今回の選挙では約40年振りとなる単独過半数を失い、政権発足にはバイエルン州で活動するリベラル系政党・自由の投票者（FW）か同盟90/緑の党のどちらかと連立を組む必要がある（図表2）。バイエルン州はドイツ有数の経済・人口規模を誇り、州内にはドイツを代表する多くの優良企業が本社を構える。CSUにとっては、難民危機対応や企業と環境の共生で立場が大きく異なる同盟90/緑の党よりも、政策軸が近いFWの方が連立関係を模索しやすい。

今回のバイエルン州の議会選挙は28日に控えるヘッセン州の議会選挙とともに、メルケル政権の求心力低下を占う試金石とみられてきた。バイエルン州ではCSUとSPDの凋落と同盟90/緑の党とAfDの躍進が明らかとなり、ヘッセン州でも二大政党の苦戦が伝えられている（図表3）。こうした傾向は連邦議会レベルの各種の世論調査でも確認され（図表4）、有権者の二大政党離れと

多極化の進行により、ドイツの政治安定の文化に綻びがみられる。州議会選での連立与党の惨敗もすぐさまメルケル首相の責任問題に発展する可能性は低い。バイエルン州議会選挙の結果を受け、ゼーホーファー氏がCSUの党首と内務相を辞任するとの観測が高まっており、政権内の不満分子放逐で短期的には政権の延命につながりやすい。ただ、首相の求心力とCDUの支持率低下で、メルケル首相の禅譲も視野に、後継者レースが徐々に熱を帯びてこよう。その意味でまずは12月7・8日に予定されるCDUの党大会に注目が集まる。今のところメルケル首相の党首再任が脅かされる状況にはないが、9月末に行われた連邦議会の院内総務選出で首相に近いカウダー氏の再選が阻まれるなど、党内には世代交代を求める声が高まっている。また、SPDの凋落と同盟90/緑の党の躍進が続けば、左派政党間の勢力図が塗り替えられ、2021年の次期連邦議会選挙では、同盟90/緑の党がCDUの有力な連立相手として台頭していることが予想される。

(図表1) ドイツ・バイエルン州議会選挙の結果

	前回選挙 (2013/9/15)		今回選挙 (2018/10/14)		
	得票率	議席	得票率	FDPあり 議席	FDPなし 議席
キリスト教社会同盟 (CSU)	47.7	101	37.2	73	77
同盟90/緑の党 (Grüne)	8.6	18	17.6	35	37
自由の投票者 (FW)	9.0	19	11.8	23	25
ドイツのための選択肢 (AfD)	—	—	10.3	20	21
社会民主党 (SPD)	20.6	42	9.7	19	20
自由民主党 (FDP)	3.3	0	5.0	10	0
左翼党 (Die Linke)	2.1	0	3.1	0	0
	—	180	—	180	180

注：1) 今回選挙はARDの開票速報（現地時間の15日1時3分時点）

2) FDPの得票率が最低議席獲得に必要な5%前後のため、場合分け

出所：Die Zeit Onlineより第一生命経済研究所が作成

(図表2) ドイツ・バイエルン州議会選挙の結果に基づく連立組み合わせと議席数

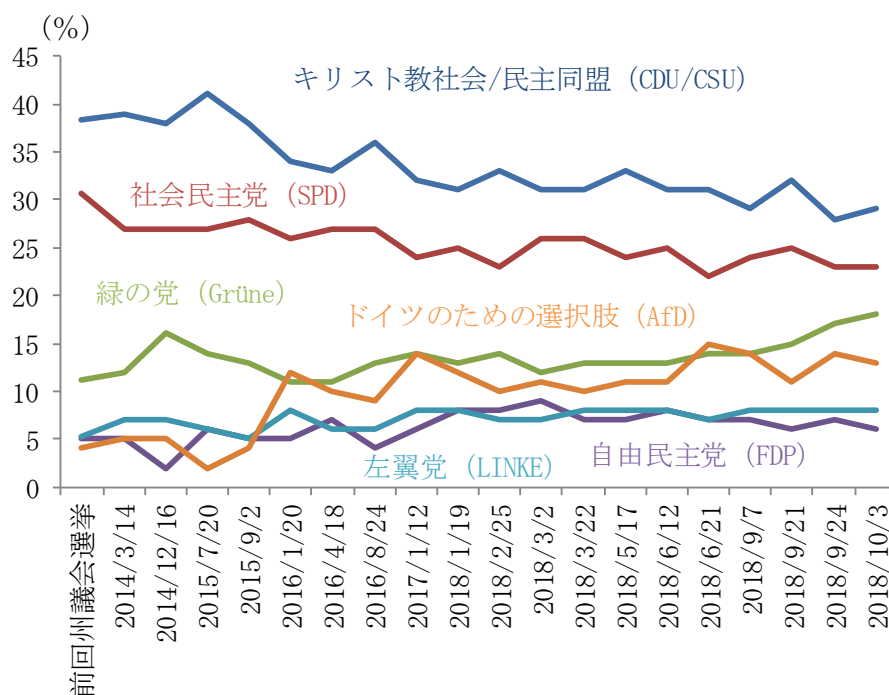
	FDPあり		FDPなし	
	議席	過半数との差	議席	過半数との差
CSU	73	-18	77	-14
CSU+FW	96	5	102	11
CSU+FW+FDP	106	15	—	—
CSU+Grüne	108	17	114	23
CSU+SPD	92	1	97	6
Grüne+SPD	54	-37	57	-34

注：1) 今回選挙はARDの開票速報（現地時間の15日1時3分時点）

2) FDPの得票率が最低議席獲得に必要な5%前後のため、場合分け

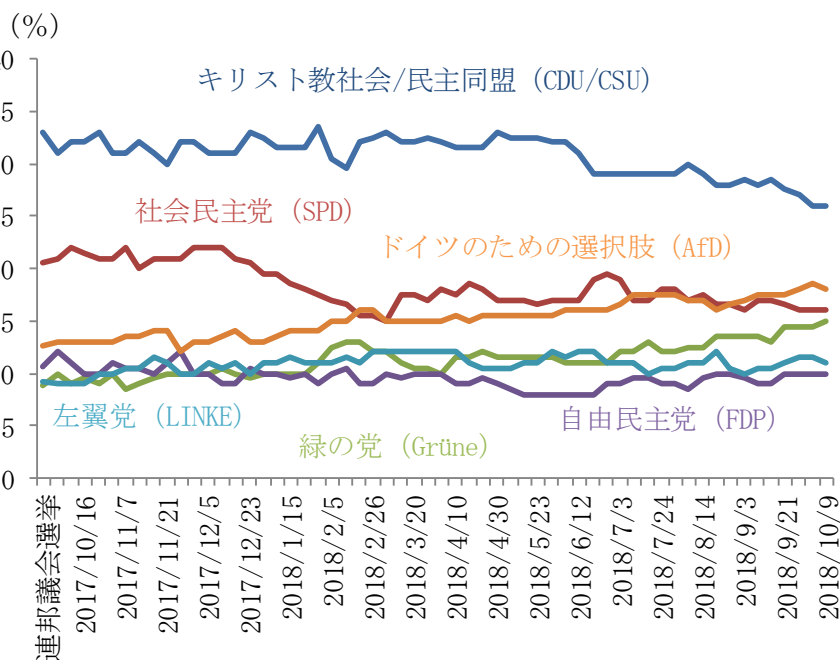
出所：Die Zeit Onlineより第一生命経済研究所が作成

(図表3) ドイツ・ヘッセン州議会選挙の支持率調査



出所：http://www.wahlrecht.deより第一生命経済研究所が作成

(図表4) ドイツ連邦議会選挙の支持率調査



出所：INSA資料より第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。